

91 六所神社

(明楽寺町)

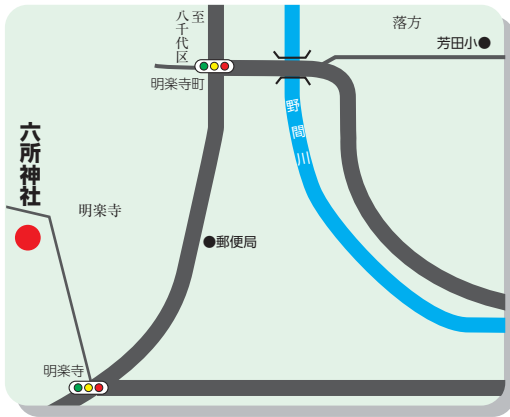
みどころいっぱい・西脇 ふるさと探訪



▲六所神社の本殿



▲5月初旬に見ごろを迎えるフジ



六所神社の創祀は不明ですが、慶長年間（1596～1615年）には池田輝政が崇敬し、その後、浅野内匠頭の領地となって浅野家の崇敬もありました。現在の本殿は、文政四年（1821年）の建立と考えられ、規模の大きな三間社流造となっています。

境内には、樹齢300年以上のフジの大木があり、5月上旬には見事な花を咲かせますので今が見ごろ。この木は、西脇市の文化財に指定されています。

また、本殿東側には薬師堂があります。境内には鎌倉時代中期の弘安8年（1285年）造立の県内最古の石造宝篋印塔があり、こちらも市指定文化財です。

フジの花を眺めつつ文化財に親しんでみてはいかがでしょうか。

編集室から



桜舞い、新芽の息吹く春の到来とともに新たな生活をお迎えになった方も多いでしょう。期待と緊張を胸に1ヵ月が過ぎ、力強い新芽のように自信が芽吹きつつある頃でしょうか。初めて広報を担当することになった私にはまだまだ分からないことも多く、関係者の熱い思いを皆さんに分かりやすく伝えることの難しさを痛感する毎日ですが、これまで何気なく眺めていた日常の風景や行事、そして何より人々の表情が以前とは少し異なって見えるようになったと感じます。

今月の特集は、「おりひめ体操で介護予防を」。ご高齢の方が元気で生き生きしていれば、超高齢社会を迎えた西脇市ももっと活気に溢れるはず。そのために必要なことは何だろうと検討を重ねておりひめ体操を作り上げ、かつ、普及に尽力している医師をはじめとする関係者の皆さんの熱意に頭が下がりました。【Y】

今月の一枚

西林寺の「唐子ツバキ」は樹齢200年を超えるとされる古木です。4月に美しい花を咲かせる県指定の天然記念物です。



西脇の自然

シャガ
(あやめ科)

西脇市動植物生態調査 研究グループ



シャガという植物名を知らない人があるかもしれませんが、アヤメによく似た花で花弁に紫と黄色の模様があるので、実物を見ると「これがそうか」と思う人が多いのではないのでしょうか。シャガは人家近くの木陰や寺、神社境内のやや湿ったところに群生します。

4月から5月が花の時期で根茎は横に這って増えます。この植物は中国原産とされ、かなり古くに日本に入ってきた帰化植物とされています。シャガは染色体が3倍体のため種はできないし球根も作られません。どうやって日本に持ち込まれたのでしょうか古代人の知恵に驚かされます。

西脇多可休日急患センター

- ◆ところ 西脇市下戸田652-1 西脇病院救急外来室
- ◆診察日 日曜日
(年末年始を除く)
午前9時～午後5時

- ◆問合せ ☎23-5380
- ※病状やけがの様子など、電話であらかじめご連絡ください。
必ず健康保険証を持参ください。

5月の出務予定医師		
5月 5日(日)	戸田 忠一 先生	
5月12日(日)	大隅 昭幸 先生	
5月19日(日)	伊藤 通男 先生	
5月26日(日)	河原 淳 先生	

発行／西脇市
編集／総務部秘書広報課

〒677-8511 西脇市郷瀬町605
TEL.0795(22)3111 FAX.0795(22)1014
西脇市HP / http://www.city.nishiwaki.lg.jp